

定通体連全道大会結果報告

バドミントン部

六月十五日(土)十六日、苫小牧市総合体育館にてバドミントン全道大会が行われた。男子団体戦はシード枠での出場となり、初戦を勝ち上がった星槎国際高校本館と対戦。ダブルスの梅屋・小山西(ともに二年)は力及ばず惜しくも敗戦。その後、第一シングルス・菊池学人(二年)、第二シングルス・齋藤(三年)がストレート負けを喫し、準々決勝で敗退した。男子個人戦には、齋藤と梅屋が出場。齋藤は初戦で北見北斗高校の選手と対戦し、見事なストレート勝ち。梅屋は函館工業高校の選手と対戦。団体戦の直後ながら疲れを見せずに健闘し、全道初出場・初勝利を収めた。二人とも次の二回戦で敗退したが、価値ある「一勝」であった。

女子個人戦には、澤田(三年)・菊池万葉(三年)が出場。澤田は、真狩高校の選手と対戦。攻めの姿勢が光ったが、残念ながら敗退。菊池は、星槎国際高校本館校の選手と対戦するも、一歩及ばず敗退となった。

今後は、新部長・菊池を中心に、更なる成長を期待する。(文責 岩城 京佑)



バスケットボール部

六月十五日(土)、各支部を勝ち抜いた男子十二校が一堂に会し、バスケットボール全道大会が行われました。日高高校は支部予選一位通過のためシード枠となり、二回戦から出場しました。昨年達成できなかった「全道一勝!」。個々の選手がこの想いを胸に苦小牧東高校に挑みました。序盤、動きの堅い日高高校は相手のゾーンディフェンスを崩すことができず、第一Pで13対27、第二P終了時点で19対45と得点を離されて前半を終えました。

しかし、日高高校バスケット部の山本君(三年)と田中君(二年)が主となり、足が止まる相手のディフェンスをかまし得点をあげ、それに呼応

して他の部員も全力で走り抜きました。しかし、序盤の差を埋めることができず、49対78で今年も初戦敗退という結果に終わってしまいました。三年間全道大会に出場したキャプテン山本君を含め三年生はこれで引退となりますが、後輩達が今後練習を重ね、来年こそは「全道一勝!」してくれることを期待します。(文責 岡島 礼久・清谷 凌)



卓球部

六月十五日(土)、十六日(日)と、苫小牧市川沿公園体育館にて定通体連卓球全道大会が行われ、個人の部で稲葉(三年)と関口(二年)が出場した。

稲葉は初戦で有朋高校の選手と対戦し、1対3で敗退となったが、得意のサーブとフォアドライブで相手を苦しめた。十分力を発揮できた一戦だった。関口は幌加内高校の選手と対戦し、2対3での敗退となった。サーブで相手を



崩せたものの、ミスを重ねて相手を調子づかせ、惜しい負けであった。来年はぜひ、今年以上の成績を期待したいものである。(文責 西村 元志)



こもれび祭の様子

第14回こもれび祭は保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力により、無事終了致しました。ありがとうございました。なお、今年度のPTA研修会・日高町文化祭は10月27日(日)を予定しております。保護者の皆様のご参加をお待ちしております。